

建設環境委員長報告

令和2年6月定例会

建設環境委員長報告をいたします。

建設環境委員会に付託されました議案の審査結果等について報告いたします。

今定例会において本委員会に付託されました議案は、「令和2年度島根県一般会計補正予算（第3号）」の予算案1件、「専決処分事件の報告及び承認について」など一般事件案3件であります。

これらの議案について、執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれの議案も全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきとの審査結果でありました。

次に、議案の審査過程における執行部からの説明、委員からの質疑、意見等のうち主なものについて報告いたします。

第81号議案「令和2年度島根県一般会計補正予算（第3号）」では、委員から、NPO法人の解散が増加傾向にあるようだが、県はどのようにとらえているのかとの質問があり、執行部からは、新型コロナウイルスの影響等により会員や寄附金の募集が行えないなど、財政上の事情もあるとの声を聞いているとの回答がありました。これに対し、委員から、しまね社会貢献基金の存在、基金への寄附には税制優遇のメリットがあることなどについて、知られていない部分があると思われるとの意見があり、広報等を強めてほしいとの要望がありました。

また、別の委員から、新型コロナウイルスの影響に伴うNPO法人の活動状況について質問があり、執行部からは、法人の総会が開催できない、活動する際のマスクや消毒液が入手できないとの声や、コロナ禍において社会的に弱い立場の方々が更に困られている状況に手を差し伸べられず、つらい思いをしているとの声があるとの回答がありました。委員からは、NPO法人が活動を再開できるよう、幅広い支援を考慮してほしいとの要望がありました。

次に、報告事項など所管事項調査における質疑、意見等のうち主なものについて申し上げます。

まず、環境生活部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「令和元年度島根県消費者センター消費生活相談の状況について」では、委員から、しまねプレミアム飲食券等の購入方法は、Webや

電話で申し込み、配達された際に現金引換えにより受け取る方法を想定しているようであるが、引換えに要する多額の現金を高齢者が家に置いておくことは、詐欺など防犯上の問題があると思われる。消費者トラブルを避ける、安全安心を担保するという点で、商工労働部と部局間で連携し、環境生活部の持つ消費者保護のノウハウをしっかりと共有してほしいとの要望があり、執行部からは、販売方法に係る法令上の留意点など商工労働部に提案をしていきたいとの回答がありました。

また、別の委員からは、小中学生が有料サイトの利用料を請求されたとの報道等があるが、島根県内の小中学生に対する消費者教育の取組状況はどうなっているのかとの質問があり、執行部からは、今年4月から県に消費者教育コーディネーターを配置し、消費者教育資料の配付や出前講座を実施している。また、今年度から、弁護士や司法書士等の実務専門家を学校に派遣し、教員とのチームティーチングを行うことも開始したいと考えているとの回答がありました。委員からは、引き続き対策を行い、今後の被害状況、相談状況等も踏まえた対応をしてほしいとの要望がありました。

次に、土木部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「ダムの事前放流について」では、委員から、江の川及び斐伊川において、河川管理者やダム管理者及び利水者の間で、事前放流に関する治水協定を締結したとのことであるが、国の基本方針も含め、地域住民や下流域の住民等にしっかりと周知する必要があるのではないかととの質問があり、執行部からは、減災対策協議会で関係市町に事前放流の説明及び治水協定の内容説明を行い、関係市町から住民の皆様への周知をお願いしている。事前放流の実施にあたっては、関係市町への通知、下流河川の巡視及び警報活動により周知を行っていくとの回答がありました。委員からは、今後、出水期を迎えることから、あらゆる面での対策をしっかりと講じてほしいとの要望がありました。

次に、企業局所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「隠岐大峯山風力発電所の民間企業への譲渡について」では、委員から、当該施設は落雷や風況の影響による故障が多発した施設だが、企業局は民間企業と当該施設の譲渡にあたり、どのような協議、ヒアリングを行ってきたのかとの質問があり、執行部からは、譲渡により一体管理とすることで、大峯山特有の風況に応じた発電が可能となり、新たに設置する最新型風車の優先運用など、効率的な運転により全体での発電量を更に増やすことができると民間企業から聞いているとの回答がありました。委員からは、企業局の経営方針にもある「地域貢献」という観点からも、民間企業と充分協議を行ってほしいとの要望がありました。

以上、建設環境委員会における審査の概要等を申し述べ、委員長報告といたします。